

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》組織再建口腔外科学分野

教授／志茂 剛 教授／奥村 一彦 助教／武田 成浩 助教／淀川 慎太郎
 顎顔面口腔外科学分野
 教授／永易 裕樹
 助教／佐々木 智也 助教／南田 康人 助教／石川 昌洋
 口腔再生医学
 教授／村田 勝

准教授／松岡 紘史 兼担講師／今井 智子 非常勤講師／原田 尚也、芦田 眞治、佐々木 朗

【概要】

口腔外科学は、口腔を構成する組織、器官を含んだ顎顔面領域で発症する疾患を対象として、主に手術療法の対象となる疾患の診断と治療を理解し、機能的、形態的回復を通じて、患者の全身の健康の維持や回復に寄与するための処置と手術法の基本について学習する。

【学習目標】

口腔・顎顔面領域における各種疾患を診察、検査、診断及び治療について説明する。
 口腔・顎顔面領域における先天異常・発育異常及び症候群を診察、検査、診断及び治療について説明する。
 口腔・顎顔面領域における損傷について診察、検査、診断及び治療について説明する。
 口腔・顎顔面領域における炎症性疾患の特徴と病因及び診断・治療の基本的概念について説明する。
 口腔・顎顔面領域における嚢胞の発生、嚢胞性疾患の症候、病態、診断及び治療法について説明する。
 口腔・顎顔面領域における良性腫瘍の発生と経過、症状、病態、診断及び治療法について説明する。
 口腔・顎顔面領域における悪性腫瘍の症候、病態、診断及び治療法について説明する。
 唾液腺疾患の特徴と病因、診断及び治療法の基本的概念について説明する。
 顎関節の構造と機能、顎関節疾患の症候、病態、診断及び治療法について説明する。
 口腔・顎顔面領域における血液疾患（貧血、出血性素因、白血病等）の病態とスクリーニング検査法について説明する。
 口腔粘膜疾患を症状別に列挙してその病態、診断及び治療法について説明する。
 口腔・顎顔面領域における神経痛と神経麻痺の症状、病態、診断及び治療法について説明する。
 口腔・顎顔面領域における機能障害の症状、病態、診断及び治療法について説明する。
 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身疾患の特徴、病因、診断及び治療法について説明する。
 心と体は密接に関連していることを理解し、心因性疾患の基本的概念について説明する。
 外科手術の基本的な考え方と手術手技とともに、疾患に対する手術法とその術後経過について説明する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	口腔外科を学習するにあたって	口腔外科を学習するにあたって、一般目標、行動目標を達成するために必要な基本的な知識・態度・技能について概説できる。	永易 裕樹
2	口腔外科診療の基礎・診察法とは	口腔外科診療の基礎・診察法について概説できる。	永易 裕樹
3	臨床能力と臨床判断とは	口腔外科の診療に必要な臨床能力と臨床判断について概説できる。	奥村 一彦
4	主要な症候とは	全身の症候(発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢)について概説できる。	奥村 一彦
5	先天異常と発育異常とは	口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常と発育異常の診断と治療について概説できる。	奥村 一彦
6	口唇裂・口蓋裂とは	口唇裂・口蓋裂、さらに唇顎口蓋裂について概説でき	奥村 一彦

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		る。	
7	口蓋裂言語と治療とは	口蓋裂で生じる異常構音と鼻咽腔閉鎖不全による言語障害とその治療法について概説できる。	今井 智子
8	口唇・口蓋裂の手術とは	口唇・口蓋裂の手術法、手術時期及びその目的について概説できる。	奥村 一彦
9	口唇・口蓋裂の集学的一貫治療とは	口唇・口蓋裂の治療は、出生前から成人に至るまでにチーム医療を基盤として実施されることについて概説できる。	奥村 一彦
10	損傷総論・創傷の治癒総論とは	損傷と創傷治癒について概説できる。	志茂 剛
11	軟組織の損傷とは	軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法について概説できる。	志茂 剛
12	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷とは	歯の外傷の原因と種類について概説できる。 歯の外傷の症状、診断法及び治療法について概説できる。 歯槽骨の外傷の症状、診断法及び治療法について概説できる。	志茂 剛
13	骨折の種類と特徴とは	骨折の種類と特徴及び治癒過程について概説できる。	志茂 剛
14	骨折治療総論とは	骨折の治療原則について概説できる。	志茂 剛
15	炎症の病理とは	細胞、組織、臓器における炎症の病態生理について概説できる。	奥村 一彦
16	炎症（総論・症状・治療総論）とは	口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴、症状、診断法及び治療法について概説できる。	奥村 一彦
17	外傷の検査法・手術法とは	外傷の検査法・手術法について概説できる。	志茂 剛
18	顎顔面骨折とは	顎顔面骨折の原因と種類について概説できる。 上顎骨骨折の症状、診断法及び治療法について概説できる。	志茂 剛
19	顎骨骨折とは	上顎骨骨折と下顎骨骨折の症状、診断法及び治療法について概説できる。	志茂 剛
20	炎症を治める好中球とは 歯性感染症の原因菌と感染経路1とは	化膿性急性炎症の主役を務める好中球について概説できる。また、歯性感染症の原因菌と感染経路について概説できる。	奥村 一彦
21	歯性感染症の原因菌と感染経路2とは	歯性感染症の原因菌と感染経路について概説できる。	奥村 一彦
22	顎顔面の炎症性疾患とは	顎顔面の炎症性疾患（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等）について概説できる。	奥村 一彦
23	口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴とは	口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴について概説できる。	奥村 一彦
24	口腔・顎顔面領域の炎症拡大・波及経路とは	口腔・顎顔面領域の炎症拡大・波及経路について概説できる。	奥村 一彦
25	口腔・顎顔面領域のリンパ節炎とは 消炎法とは	口腔・顎顔面領域のリンパ節炎について概説できる。 消炎法について概説できる。	奥村 一彦
26	腫瘍（腫瘍総論）とは	口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法（組織診、画像診断）及び治療法について概説できる。	永易 裕樹
27	歯源性良性腫瘍とは	歯源性良性腫瘍の種類と特徴を説明できる。	永易 裕樹
28	エナメル上皮腫とは	歯源性腫瘍であるエナメル上皮腫の特徴、症状及び治療法について概説できる。	永易 裕樹
29	非歯源性良性腫瘍とは	非歯源性良性腫瘍の種類と特徴について概説できる。	永易 裕樹
30	良性腫瘍の治療法とは	良性腫瘍の治療法について概説できる。	永易 裕樹

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
31	顎矯正手術・顎骨形成術とは	顎変形症手術について概説できる。 顎骨形成術について概説できる。	志茂 剛
32	骨移植術・骨延長術・上顎洞挙上術	デンタルインプラントについて説明できる。 骨移植術について説明できる。 骨延長術について説明できる。 上顎洞挙上術について説明できる。	志茂 剛
33	腫瘍類似疾患とは	顎口腔領域にみられる腫瘍類似疾患について概説できる。	永易 裕樹
34	悪性腫瘍とは	悪性腫瘍について概説できる。	永易 裕樹
35	顎・顔面の変形をきたす疾患とは	顎・顔面の変形をきたす疾患について概説できる。	佐々木 朗（志茂 剛）
36	顎変形症とは	顎変形症につて説明できる。	佐々木 朗（志茂 剛）
37	悪性腫瘍の発生原因・疫学及び診断に必要な検査とは	悪性腫瘍の発生原因・疫学について概説できる。 悪性腫瘍の診断に必要な検査について概説できる。	永易 裕樹
38	口腔・顎顔面領域の肉腫とは	口腔・顎顔面領域の肉腫について概説できる。	永易 裕樹
39	口腔潜在的悪性疾患とは	口腔潜在的悪性疾患について概説できる。	永易 裕樹
40	悪性腫瘍の治療法とは	口腔領域の悪性腫瘍の治療法について概説できる。	永易 裕樹
41	悪性腫瘍治療前後の患者管理とは	悪性腫瘍治療前後の患者管理について概説できる。	永易 裕樹
42	悪性腫瘍患者のターミナルケアとは	末期悪性腫瘍患者のターミナルケア及び緩和医療について概説する。	永易 裕樹
43	嚢胞とは	口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法及び治療法について概説できる。	村田 勝
44	顎骨に発生する嚢胞とは	顎骨に発生する嚢胞の種類と特徴について概説できる。	村田 勝
45	顎骨に発生する歯源性嚢胞とは	顎骨に発生する歯源性嚢胞の種類と特徴について概説できる。	村田 勝
46	顎骨に発生する非歯源性嚢胞とは	顎骨に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴について概説できる。	村田 勝
47	術後性上顎嚢胞とは	上顎洞根治手術後に発症する術後性上顎嚢胞の症状、診断法及び治療法について概説できる。	村田 勝
48	軟組織に発生する嚢胞とは	軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴について概説できる。	村田 勝
49	顎関節の構造・機能及び顎関節疾患とは	顎関節の構造と機能について概説できる。 顎関節疾患の種類と特徴について概説できる。	奥村 一彦
50	顎関節疾患の画像検査とは	顎関節疾患の画像検査について概説できる。	奥村 一彦
51	顎関節疾患とは	外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症の症状、診断法及び治療法について概説できる。	奥村 一彦
52	唾液腺疾患とは	唾石症、唾液腺炎、流行性耳下腺炎について概説できる。 小唾液腺疾患について概説できる。	村田 勝
53	唾液腺腫瘍とは	唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法及び治療法について概説できる。	村田 勝
54	Sjögren症候群とは	Sjögren症候群の特徴、症状、診断法及び治療法について概説できる。	村田 勝
55	唾液腺疾患の治療とは	唾液腺疾患の治療法について概説できる。	村田 勝

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
56	抗菌薬の適正使用(PK/PD等)とは	感染症及び術野感染予防について抗菌薬の適正使用(PK/PD等)について概説できる。	奥村 一彦
57	口腔・顎顔面領域の良性腫瘍と悪性腫瘍のまとめ	口腔・顎顔面領域の良性腫瘍と悪性腫瘍について各々の授業の最後に確認テストを実施	永易 裕樹
58	口腔・顎顔面領域の炎症性疾患のまとめ	口腔・顎顔面領域の炎症性疾患について各々の授業の最後に確認テストを実施	奥村 一彦
59	損傷のまとめ 顎変形症のまとめ	損傷と顎変形症について各々の授業の最後に確認テストを実施	志茂 剛
60	嚢胞性疾患のまとめ 唾液腺疾患のまとめ	嚢胞性疾患と唾液腺疾患について各々の授業の最後に確認テストを実施	村田 勝
61	全身と口腔疾患とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患及びその症状について概説できる。 口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法について概説できる。	石川 昌洋
62	全身と口腔疾患とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状について概説できる。 口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状について概説できる。	佐々木 智也
63	全身と口腔疾患とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を概説できる。	淀川 慎太郎
64	スクリーニング検査とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患のスクリーニング検査法について概説できる。	淀川 慎太郎
65	全身と口腔疾患とは	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症における口腔症状と検査法について概説できる。	武田 成浩
66	全身と口腔疾患とは	口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状について概説できる。	原田 文也
67	口腔粘膜疾患とは	口腔粘膜疾患の種類と特徴について概説できる。	奥村 一彦
68	口腔粘膜疾患とは	水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患について概説できる。	奥村 一彦
69	口腔粘膜疾患に対する治療(全身療法と局所療法)とは	口腔粘膜疾患に対する治療を全身療法と局所療法について概説できる。	奥村 一彦
70	血液疾患とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患について説明できる。	淀川 慎太郎
71	出血性素因とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す出血性素因について概説できる。	淀川 慎太郎
72	薬物の副作用とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用について概説できる。	南田 康人
73	閉塞性睡眠時無呼吸症とは	閉塞性睡眠時無呼吸症の概念と口腔内治療装置 オールアプライアンス について概説できる。	淀川 慎太郎
74	慢性閉塞性肺疾患(COPD)とは	慢性閉塞性肺疾患(COPD)について概説できる。	淀川 慎太郎

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
75	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状について概説できる。	奥村 一彦
76	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群とは	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状及び診断法について概説できる。	奥村 一彦
77	抜歯の適応症と禁忌症とは	抜歯の適応症と禁忌症について概説できる。 相対的禁忌への対応及び小手術の適応症と禁忌について概説できる。	永易 裕樹
78	抜歯の手技と経過とは	埋伏智歯の抜歯法について概説できる。 小手術の偶発症と合併症について概説できる。	永易 裕樹
79	歯根嚢胞摘出術・歯根尖切除術とは	歯根嚢胞摘出術と歯根尖切除術について概説できる。	奥村 一彦
80	全身管理に留意すべき全身疾患・状態とは	全身管理に留意すべき呼吸器・循環器・消化器・泌尿器・生殖器・神経・運動器・精神・内分泌・免疫疾患について配慮すべき点について概説できる。 小児・高齢者・妊婦について配慮すべき点について概説できる。 器具の滅菌と消毒について説明できる。 手指と術野の消毒について説明できる。	永易 裕樹
81	手術学(滅菌・消毒)とは 心因性疾患(総論)	器具の滅菌と消毒について概説できる。 手指と術野の消毒について概説できる。	永易 裕樹
82	小手術器械と使用法とは	小手術に必要な器具の用法と基本手技について概説できる。	永易 裕樹
83	心因性疾患とは	心身相関、歯科心身症、心理テストについて概説できる。	松岡 紘史
84	心因性疾患とは	口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みについて概説できる。 舌痛症について概説できる。 歯科治療恐怖症について概説できる。 心身医学的治療について概説できる。	松岡 紘史
85	神経疾患とは	三叉神経痛の原因、症状について概説できる。 顔面神経麻痺の原因、症状について概説できる。 三叉神経麻痺の原因、症状について概説できる。 舌咽神経痛の原因、症状について概説できる。	永易 裕樹
86	末梢神経疾患の治療とは	三叉神経痛の治療法について概説できる。 顔面神経麻痺の治療法について概説できる。 三叉神経麻痺の治療法について概説できる。 舌咽神経痛の治療法について概説できる。	永易 裕樹
87	切開・止血・縫合とは	粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法について概説できる。 縫合と止血に必要な器具の用法について概説できる。	
88	移植手術・顎顔面補綴治療・補綴前外科処置とは	移植手術・顎顔面補綴治療について概説できる。 補綴前外科処置について概説できる。	志茂 剛

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
89	医科歯科連携医療とは	医科歯科連携医療について概説できる。 社会が求める歯科医療サービスについて概説できる。	芦田 眞治
90	診療所での口腔外科診療の実際とは	診療所における口腔外科診療の実際について概説できる。	原田 尚也

【評価方法】

〔口腔外科学〕、（講義）評価方法〕定期試験（100%）
〔判定法〕前期、後期試験で、それぞれで60点以上を合格とする。

【備考】

教科書：栗田賢一、覚道健治 編集主幹：口腔外科の疾患と治療 第5版 永末書店 2019年

参考書：榎本昭二、道 健一、天笠光雄、小村 健：最新口腔外科学 第5版 医歯薬出版 2017年
奥村一彦：なぜか考える口腔外科 クインテッセンス出版 2016年
日本口腔外科学会編：口腔顎顔面外科学専門用語集 医歯薬出版 2011年

【学習の準備】

指定した教科書の該当ページを事前に読み、疑問点を整理しておくとともに、使用されている専門用語を理解しておくこと(50分)。

前回までの講義内容についてノート、教科書、配付されたプリントを用いて十分な理解をしておくこと(50分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)と当該授業科目の関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために口腔・顎顔面領域疾患の治療法を学修する（専門的実践能力）（専門的実践能力）。
DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために口腔・顎顔面領域疾患の患者への対応法を学修する（多職種が連携するチーム医療）。

【実務経験】

志茂 剛（歯科医師）、奥村 一彦（歯科医師）、武田 成浩（歯科医師）、淀川 慎太郎（歯科医師）、永易 裕樹（歯科医師）、佐々木 智也（歯科医師）、南田 康人（歯科医師）、石川 昌洋（歯科医師）、村田 勝（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

口腔外科学は、口腔を構成する組織、器官を含んだ顎顔面領域で発症する疾患を対象として、主に手術療法の対象となる疾患の診断と治療を行って機能的、形態的回復を通じて、患者の全身の健康の維持や回復に寄与する臨床科目である。また、口腔外科学は医学と歯学の共通の場であることから、幅広い実務経験を持った教員が臨床の場ですぐ実践できる手技と理論をもとに講義を行う。